



株主通信

第 75 期

KUZE BUSINESS REPORT 2021年4月1日から2022年3月31日まで

TOP MESSAGE

事業の基本に立ち返り、変化に対応。
基盤をしっかり築き、成長を目指します。

詳細な情報はホームページをご覧ください

➡ <https://www.kuze.co.jp>

頼れる食のパートナー

KUZE 株式会社 **久世**

証券コード：2708

事業の基本に立ち返り、変化に対応。
基盤をしっかり築き、成長を目指します。

代表取締役社長

久世 真也

profile

1972年9月27日生。2002年10月当社入社。
営業本部東京支店副支店長、キスコフーズ代表取締役
社長を歴任し、常務取締役、取締役副社長を経て現職。



市場回復を受け、計画以上の増収・損失縮小を達成

コロナ禍が世界中のあらゆる社会・経済活動に甚大な影響を及ぼしたこの2年間、業務用食材卸の市場環境も人々の生活様式や労働形態の変化を受け、停滞を余儀なくされました。しかし、私たちの基盤である「食」の需要そのものが失われたわけではありません。市場の回復に向けて、事業の基本に立ち返り、変化に対応していくことが求められた2年間だったと言えます。

その中で当社グループの2022年3月期は、主要顧客である外食産業の需要回復が進み、また後ほど述べますが、

中期経営計画の事業戦略にもとづく取り組みが成果を上げ、各販売チャネルにおいて売上が前期を上回る状況となりました。利益面においても、物流費の抑制を中心に損益分岐点の引き下げを図り、改善を果たしました。

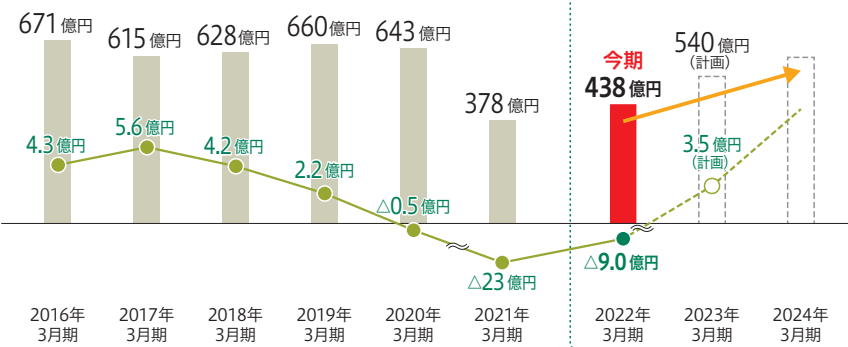
結果として連結業績は、売上高438億51百万円(前期比15.8%増)、営業損失9億8百万円(前期は23億36百万円の損失)、経常損失7億46百万円(同20億76百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純損失7億27百万円(同18億61百万円の損失)となり、見込み数値を上回る増収および損失縮小で着地いたしました。

中期経営計画(第5次3ヶ年中期経営計画)

私達のあるべき姿

“頼れる食のパートナー”

■ 売上高 ■ 営業利益



第3次中期経営計画

第4次中期経営計画

第5次中期経営計画

具体施策・戦略

改善施策

- 収益改善
- 業務改善

プラスオン戦略

- コロナに影響を受けにくい業態開拓
- 定番品の商品力強化と配荷件数の増加
- 売れる仕組みの構築

成長戦略

- EC事業
- DX化の推進
- 海外事業
- グループシナジー

3つの機能強化

- 物流
- マーケティング
- 情報システム

国分グループ本社株式会社と資本業務提携

当社は、業界トップクラスの酒類・食品卸売企業である国分グループ本社株式会社と2022年3月18日に資本業務提携契約を締結しました。本提携により、経営資源を相互活用し、中長期的なビジョンを共有しながら業界発展に貢献すると同時に、両社グループの独自性や強みをさらに成長させることで企業価値の向上を図ってまいります。

リソースを相互活用した国分グループとの協業展開

当社グループは、コロナ禍の影響により、営業活動が苦戦を強いられ、2020年3月期から営業損失および最終赤字の計上が続ぎ、有利子負債の増加と自己資本比率の低下を招いております。このたび締結した国分グループ本社との資本業務提携(p2別枠記事ご参照)は、業績悪化により傷んだ財務基盤の強化を図ると同時に、両社のリソースを相互活用した協業展開を進めることで、ともに持続的成長を実現し、企業価値の拡大を目指すものです。

酒類・食品の大手卸売業である国分グループ本社は、当社が長年にわたり取引している仕入先です。業界における長期的視点や価値観も当社と合致しており、協業を通じて多くのシナジーが期待できます。

本提携にもとづき、当社は2022年4月、国分グループ本社への株式割り当てにより7億円を調達し、全額を借入金の返済に充当しました。その結果、借入額は2022年3月期末の64億円から54億円に減少し、自己資本比率も上昇いたしました。

当社は今後、国分グループが保有する物流拠点の共同活用等による物流コストの低減や機能の最適化を図る他、情報システムの相互利用により、双方のマーケティングデータの有効活用を図ってまいります。また、情報プラットフォームの共通化を検討し、商品購買や人材育成における協力関係も築いていく予定です。

ウィズコロナ業態開拓とプラスオン戦略が着実に進展

2022年3月期から始動した第5次3ヶ年中期経営計画「One Team 100(ワンチームハンドレット)」は、改善施策の実行と既存事業の強化、成長戦略の推進により、「頼れる食のパートナー」としてのあるべき姿を実現していくものです。計画初年度は、改善施策によって損益分岐点の引き下げを果たし、ウィズコロナ業態の開拓とプラスオン戦略による既存事業の強化も着実に進展しました。

ウィズコロナ業態の開拓は、中食・惣菜や給食・ヘルスケア関連を中心に、テイクアウト&デリバリー、セントラルキッチン、食品スーパーなどの需要を獲得し、売上高に占める比率を前期の10%から14%へ拡大しました。中期的には同比

率を30%まで高めてまいります。プラスオン戦略は、従来の強みである調味料や消耗資材に加え、冷凍素材や酒類・飲料を積極提案していくものです。専門部署として立ち上げたセールスバイヤー部による重点商品の提案スキームづくりが成果を上げました。

成長戦略の推進では、冷凍・冷蔵対応の物流インフラを活かしたEC販売の物流受託業務が順調に推移しております。食材製造子会社のキスコフーズと連携した提案面の総合力発揮や、中国およびニュージーランドで展開する海外事業も着実に進展しました。またDX施策として、お客様の端末から商品を検索・遠隔発注できる新たな受発注システムの構築を進めています。

残る計画2年間は、さらなる収益改善と業務効率化、人材育成、そして当たり前のことを確実に遂行する「基本の徹底」に注力してまいります。特に収益改善は、国分グループが持つ酒類・飲料の強みも活かしながら、提供価値の向上により客単価を高め、同時に損益分岐点の引き下げを維持することで実現していく考えです。

熱意をもって成長を目指し、社会に貢献する企業へ

今回の期末配当は、最終損失を計上したことに加え、今後の事業展開に向けて資本の充実を優先する必要があることから、前期に引き続き無配とさせていただきました。株主の皆様には、心よりお詫び申し上げます。

2023年3月期の連結業績は、増収および黒字回復を見込んでいますが、配当予想は現時点で未定とさせていただきます。できるだけ早期の復配を目指してまいりますので、何卒ご了承のほどお願い申し上げます。

当社は、東京証券取引所の市場区分再編に際し、スタンダード市場に移行しました。同市場が求めるガバナンス水準への対応をはじめ、株主・投資家の皆様の信頼に応えるべく社内体制を整備し、企業価値の拡大に向けてしっかりとした基盤を築いていく所存です。

豊かさの提供と雇用の創出を担う外食・中食産業は、多様性に満ち、深耕に値する市場が広がっています。当社は、その食材供給を支える企業として、熱意をもって成長を目指し、社会に貢献してまいります。

業務用食材卸の久世は「頼れる食のパートナー」を目指しています。

「運ぶ」「つくる」「考える」という3つの観点から「繁盛店づくり」のための様々なサポートを行い、課題を解決する「フードサービス・ソリューション・カンパニー」です。



久世の役割

久世は消費者の皆様「多様で豊かな食」をお届けしています

あらゆる食材・資材をワンストップで提供できるフルラインサプライヤーとしてお客様のニーズにお応えし、いつでもどこへでも高品質をお届けしています。

価格と品質にこだわったオリジナル商品の開発を行っており、定番アイテムはもちろん、他店との差別化を図る独自性の高い商品も取り揃えています。

また、長年の経験をいかし、メニュー開発やオペレーションに至るまでのトータルサポートや最新トレンドなどの情報発信を行い、久世の持つノウハウを提供しています。

2013年にはISO22000を取得し、商品の品質だけでなくすべての工程の品質を向上させ、お客様にご満足いただけるようサポートしています。久世は、グループの総合力でお客様の「繁盛店づくり」のお手伝いをしています。

久世が取り組む



持続的な成長を目指した環境への対応

当社は「頼れる食のパートナー」として、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様、社員とその家族、地域社会の皆様から必要とされる存在でありたいと考えています。パートナーの皆様から信頼され、必要とされる会社を目指し、社会的課題に挑戦していくことで、新たな市場や価値を創造し、地球環境への貢献や社会の持続的発展、久世グループの成長に繋がっていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (持続可能な開発目標) とは

2015年9月の国連サミットで採択されたアジェンダで掲げられた国際目標。2030年までに持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。

「豊島区国際アート・カルチャー特命大使／SDGs特命大使」として活動してまいります

豊島区は内閣府より「SDGs未来都市」や「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。豊島区の企業である当社は「豊島区国際アート・カルチャー特命大使／SDGs特命大使」として国際アート・カルチャー都市としの魅力を区内外に発信する等、都市構想に賛同しています。

CLOSE UP

市販向け商品の販売開始!! ミールキット 「make!t (メイキット)」

大切な人 大切な時間 [メイキット]

make!t

コンセプト

「メイキット」は、誰もが簡単に出来立てを提供できる体験型クッキングキット

自分の時間や大切な人との時間を大事にしている方や食への価値観が高い方々へ、時短しつつも作る楽しさや食べる楽しさを提供したいと考えています

商品の
特徴



ミールキットには野菜、肉、たれなどの食材が必要な分量だけ入っています。食材はすでにカットされているため、まな板も包丁も使わずに誰でも簡単に調理することができます。使いたいときに使え、ムダが出ないため食品ロスなどの環境にもやさしい冷凍のミールキットです。

作り方一例

牛バラ肉と5種の国産野菜の 辛味噌炒め

ご用意いただくもの ●油 大さじ1 ●フライパン(目安:26cm~)

recipe 2人前

火加減: 中火

- 1 熱したフライパンに油大さじ1を入れて、④冷凍野菜を加えて約2分炒めます。
- 2 ②旨味たれを加えて約1分30秒炒め、フライパンの奥側に寄せます。
※冷凍野菜は最終手順までには火が入ります。
- 3 フライパンの手前側に③牛肉を加えて、赤みが無くなるまで約1分30秒炒めます。
※火力が強い場合は弱火にして、加熱調節をしてください。
- 4 ①辛味噌たれを加えて、全体にたれが絡むように約30秒炒めたら完成です。



解凍が必要な食材(冷蔵・流水)

- ① 辛味噌たれ 50g
- ② 旨味たれ 15g
- ③ 牛バラ肉 120g

冷凍のまま使用する食材

- ④ 冷凍野菜 180g
(キャベツ、人参、じゃがいも、茄子、ピーマン)

楽天市場
「make!t STORE」
にて販売

「メイキット」以外の当社取り扱い商品も購入可能です。

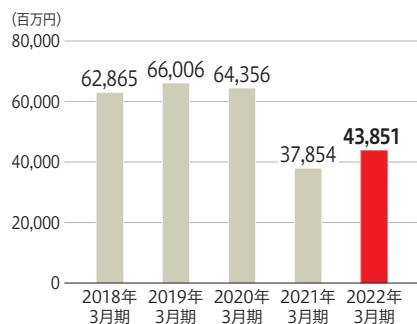


<https://www.rakuten.ne.jp/gold/kuze/>

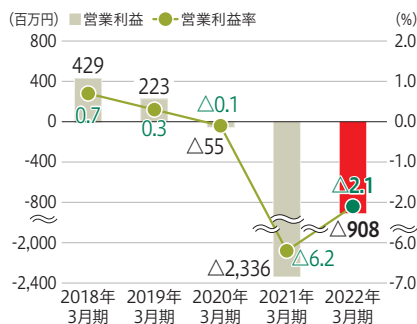
インスタ
グラムでも
情報公開中



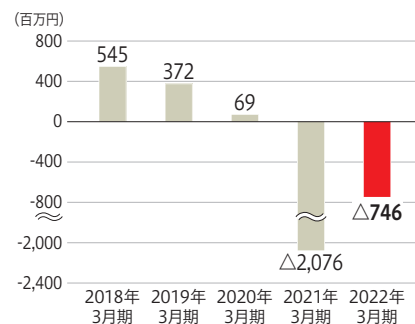
売上高



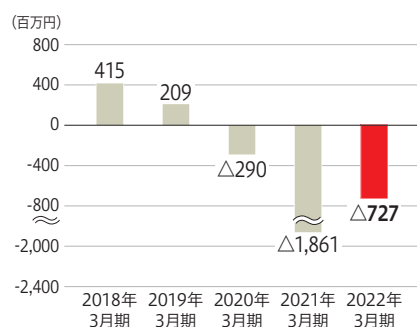
営業利益／営業利益率



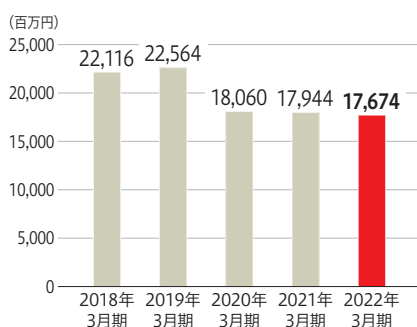
経常利益



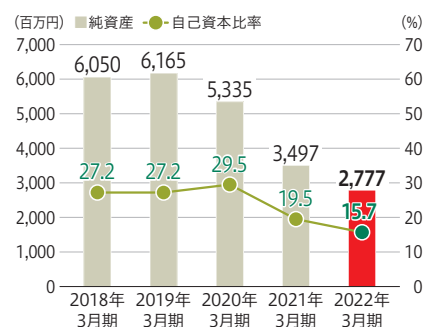
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産

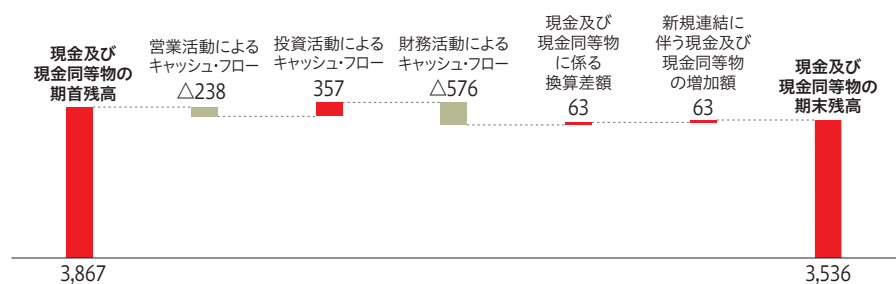


純資産／自己資本比率



連結キャッシュ・フローの概要 (百万円)

2021年4月1日～2022年3月31日



POINT

財政状態

- 総資産は受取手形及び売掛金が増加し、現金及び預金、投資有価証券が減少したことなどから2億69百万円減少しました。
- 支払手形及び買掛金が増加し、長期借入金が増加したことなどにより、負債は4億50百万円増加しました。
- 利益剰余金が減少したことなどにより純資産は7億19百万円減少しました。

キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローが△2億38百万円となったことおよび財務活動によるキャッシュ・フローが△5億76百万円となったこと等により、現金及び現金同等物の期末残高は3億30百万円減少しております。

会社概要

社名 株式会社 久世
所在地 東京都豊島区
東池袋二丁目29番7号
電話番号 03-3987-0018(代表)
代表者 代表取締役社長 久世真也
創業 1934年(昭和9年)4月
会社設立 1950年(昭和25年)1月
資本金 5億67百万円
(2022年4月30日現在)

役員

(2022年6月24日現在)

代表取締役会長 久世 健吉
代表取締役社長 久世 真也
常務取締役 加藤 広忠
取締役 市川 明夫
取締役 吉田 弘之
社外取締役 平川 功
社外取締役 鈴木 嘉一
監査役 後藤 明彦
社外監査役 和井田 堯彦
社外監査役 大鹿 博文

株式の状況

(2022年3月31日現在)

大株主の状況

(2022年3月31日現在)

(注) 持株比率は、自己株式
(181,118株)を控除
して計算しております。

発行可能株式総数 12,000,000株
発行済株式総数 3,882,500株
株主数 4,109名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
久世健吉	619,425	16.73
久世真也	291,750	7.88
久世純子	217,800	5.88
日本生命保険相互会社	140,000	3.78
株式会社トーホー	135,000	3.64
久世将寛	130,500	3.52
久世社員持株会	129,425	3.49
久世晃介	128,100	3.46
株式会社みずほ銀行	125,000	3.37
株式会社極楽湯ホールディングス	125,000	3.37

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3カ月以内に開催
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
(同連絡先)
公告方法 電子公告により、当社WEBサイトに公告いたします。
但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に公告します。

- ご注意**
1. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。
 2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いいたします。

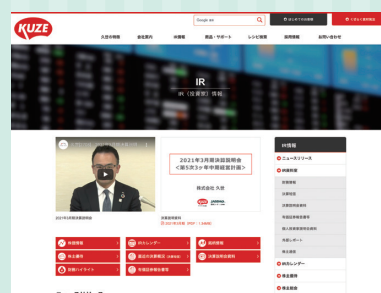
● ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新のおすすめ情報のほか、事業内容やIR情報を発信しております。是非ご覧ください。

IR情報

<https://www.kuze.co.jp>



久世

検索



株主様向け 耳よりインフォメーション

当社は、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに
当事業へのご理解とご支援をいただき、より多く
の皆様にご当社株式を長期に保有
していただける魅力あるものとする
ことを目的として株主優待制度を
設けております。

進呈時期
毎年**10月**
中旬以降

対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載され
た1単元(100株)以上を保有されている
株主様を対象といたします。

優待の内容

株式保有数に応じて当社プライベート商品
「特選無洗米」(山形県天童産)

100株以上 1,000株未満

久世 特選無洗米 2.5Kg



1,000株以上 3,000株未満

久世 特選無洗米 5kg
(2.5kg×2)



3,000株以上

久世 特選無洗米 10kg
(2.5kg×4)



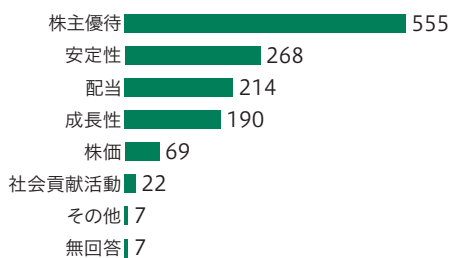
株主様アンケート結果のご報告

ご協力ありがとうございました!

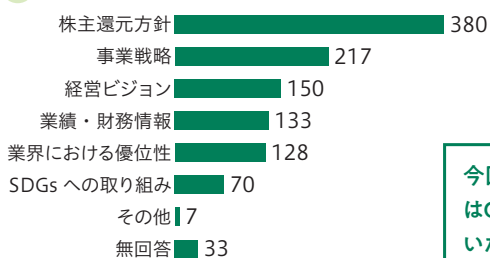
回答株主数 772名 回答率 20.1%

前回の株主通信に同封いたしました株主様アンケートの結果について、いただいたご意見の一部をご報告いたします。
皆様からいただきました貴重なご意見を、今後にいかしてまいります。

Q 当社に期待すること



Q 当社について知りたい情報



株主様からいただいたご意見を一部ご紹介します

Q 株主還元方針について改めて教えてください。

A 当社は、安定配当の維持を第1としており、一定以上の利益水準に達した場合には業績連動の考え方を導入するという方針に変更はございません。また、業績が回復しましたら、長期保有の株主様への還元も視野に検討してまいります。

Q 食材卸業界における御社の強み(優位性)を教えてください。

A 当社は、人口が多く多様な飲食店を有する東京を中心に事業を展開しており、その大きなマーケットから将来に亘って成長できる可能性を有していると考えております。

今回も株主様アンケートを実施いたします。下記URLまたはQRコードからアンケート画面へアクセスいただきご回答いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

<https://forms.gle/mphNyc773ygE94iV8>

